

地域医療連携だより

高松市立病院
基本理念

『生きる力を応援します』

平成27年

7月号
〈第18号〉

高松市民病院
基本方針

1『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
2『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
3『まごころのある医療人』を全力で育成します。

診療科紹介

泌尿器科

大森 正志 天野 慎二 富田 諒太郎

泌尿器科の開設は、昭和48年6月に徳島大学から野田益弘先生や前林浩次先生が着任したことにより始まりました。その後も徳島大学の関連病院として、現在徳島大学の薬理学教授である玉置俊晃先生、1990年代にいち早くレーザー碎石器（アレキサントリプター）やESWLを導入した平石攻治先生など、20名弱の先生方が勤務されました。現在は、天野慎二先生（平成9年卒）と富田諒太郎先生（平成21年卒）、大森正志（昭和56年卒）の3人体制で一般泌尿器科診療と透析治療を行っています。また、当院の診療以外に塩江分院や香川診療所の外来診察も各々月に2回ずつ行っています。

手術は一般的な泌尿器科手術に加え、腹腔鏡手術（腎、副腎、前立腺）に力を入れています。最新のレーザー碎石器（Holmium Laser）も平成26年に導入さ

れ、ハイビジョン軟性鏡を用いたレーザーによる尿路結石治療（f-TUL）や同じくレーザーを用いた前立腺核出術（HoLEP）も積極的に行っています。

透析医療は昭和48年頃から開始し、日本透析医学会から透析施設認定もいただいています。現在、透析指導医、透析専門医を含む計3名の泌尿器科医と透析療法指導看護師を含む9名のスタッフにて約50名の患者さんの維持血液透析を行っています。急性腎不全や敗血症などの慢性腎不全以外の血液浄化も行っており、近医や他科から年間約30名の患者を紹介され、主にICUで緊急透析を行っています。また、シャント外来を週に1回行い、近隣の透析施設でのシャントトラブルの相談や対処にも、時間の許す限り対応するようにしていますので、お気軽にご相談下さい。

なお、平成30年度前半には仏生山に新築移転して新しい施設での泌尿器科診療、透析治療ができることを心待ちにしています。

今後ともよろしくお願い致します。

（文責 大森 正志）



泌尿器科外来メンバー



透析室メンバー

口腔ケアチームを発足しました

香川県歯科医師会が新規事業として「地域在宅歯科医療連携」に取り組むこととされ、当院でも口腔ケアチームを発足しました。香川県歯科医師会から歯科医師6名（週3日、変則交代制）と歯科衛生士3名（常勤）が派遣され、入院患者さんや周術期患者さん、化学療法を行う全患者さんの全身と口腔機能向上を図ることを目的として、専門的口腔ケアを行います。また、誤嚥性肺炎や周術期患者さんの口腔からの感染予防や疼痛緩和など、これまで以上に口腔内環境向上に力を入れていきます。

今後は、退院時に患者さんへ地域の歯科医療機関の紹介などを行い、今まで以上に当院と地域の先生方との連携を充実させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。



口腔ケアチームメンバー

『ふれあい看護体験2015』を開催しました

ふれあい看護体験担当者 今岡 朱美

5月16日（土）に「看護の心をみんなのこころに」をテーマとして開催しました。小学生や中学生、介護職の方々にご参加いただき、看護の日の由来や日本全国で行われている看護習慣について紹介させていただきました。また、救急蘇生や手術室の手洗い、ガウンテクニック、新生児の沐浴などの見学・体験をしていただきました。



参加していただいた方からは、「普段見ること、

入ることのできない場所で貴重な体験ができた」「お母さん（看護師）の大変さが分かった」「将来の職業として看護師も良いなと思った」「心臓マッサージが体験できて良かったけれど人工呼吸は男子だったらやりたくない」「赤ちゃんのへその緒が気持ち悪い」などと率直な意見をいただきました。

今回の体験を通して、看護の心を知っていただき、一人でも多くの方に医療に関わる仕事に携わっていただけたらと願っています。



第3回 地域医療連携カンファレンスを開催しました

内科 大黒 由加里

平成27年5月28日（木）に、第3回 高松市民病院地域医療連携カンファレンスをロイヤルパークホテル高松で開催しました。

今回は、講師に徳島大学大学院医歯薬学研究部、血液・内分泌代謝内科学の安倍正博教授をお迎えして、「見落としやすい血液疾患」という演題の元、日常診療で遭遇する血液疾患の診かたにつきご講演をいただきました。平日の開催であったにも関わらず、地域医療機関の先生方にも多数ご参加いただき、加えて当院医師や研修医、学生を含め合計参加人数が約100名にのぼる盛会となりました。

安倍教授は血液内科学、特に多発性骨髄腫を専門分野とし、加えて内科学全分野に渡る幅広い知識・見解をお持ちであり、さらに優しく温厚なお人柄を兼ね備えた素晴らしい先生です。この度のご講演に関しましても、日常診療でよく遭遇する貧血などcommon diseaseの鑑別疾患に始まり、



ご自身の専門領域である血液疾患の病態など、幅広くご講演して下さいました。参加者からも大変分かりやすく参考になったとの多くの声を耳に致しました。

講演終了後の意見交換会におきましても、多数の先生方にご参加いただき、有意義な意見交換の場をもつことができました。

この度も、安倍教授ならびにご多忙の折、ご参加いただいた地域の先生方のご助力のおかげで充実したカンファレンスを行うことができました。誠にありがとうございました。

今後も継続して本連携カンファレンスを行って参りたいと考えていますので、何卒よろしくお願ひ致します。



次回地域医療連携セミナー開催のお知らせ

日時 平成27年9月16日（水）午後7時～

場所 高松市民病院 西館2階 西会議室

演題 「当科での傷の小さな内視鏡手術の工夫」 外科 四方 祐子 医師
「めまい症の落とし穴」 耳鼻咽喉科 近藤 昭男 医師

※事前申し込みが必要です。

お問い合わせ先：地域医療連携室 TEL:087-834-2181（代表） FAX:087-834-2223（直通）

日本医師会生涯教育制度の体験学習1単位カリキュラムコード（53,31）を取得いただけます。

当日は、軽食をご用意しております。

一人でも多くの先生方のご出席をお待ちしております。

介護関連施設職員研修会を開催しました



第14回介護関連施設職員研修会を通して

5月13日（水）に『耐性菌等の対応について（MRSAなど）～看護の立場から～』の演題にて、当院の感染管理認定看護師より30名の施設職員の方に講義を行わせていただきました。当日行ったアンケート調査より、「ケア後の手洗いを必ずしていく必要があると思った」「デイサービスなので菌血症者に対して職員としての対応を活かしたい」「手指衛生、手洗いの徹底を心がけたい」など多数のご意見をいただくことができました。ご参加ありがとうございました。



第15回介護関連施設職員研修会を通して

6月10日（水）に『一次救命処置（BLS）について』の演題にて、当院の救急看護認定看護師より39名の施設職員の方に講義を行わせていただきました。当日行ったアンケート調査より、「歌で心臓マッサージを行うことでリズム感がわかった」「急変に対応できるように手順・使用方法などを普段から話し合いをして決めておきたい」「異変に気づいてから初期の迅速な対応の大切さを感じた」など多数のご意見をいただくことができました。ご参加ありがとうございました。

… FAX 予約をお願いします…



患者さんをご紹介していただく際に、**地域医療連携室**へ事前にFAX予約をお願いいたします。「高松市民病院FAX診療申込書」をご利用ください。

電話 (087) 834-2181(代表)

FAX (087) 834-2223(直通)

受付時間 平日(月～金) 8:30～17:00

※当日のFAX予約は受付できませんのでご了承ください。